

---

# Press Release

---

報道関係各位

2020年10月22日  
沖縄UDS株式会社

## ホテル アンテルーム 那覇 次回展のお知らせ 阪田清子 個展「ゆきかよう舟」 開催

沖縄UDS株式会社（沖縄県那覇市 代表取締役社長：岡崎勝彦）が運営する「ホテル アンテルーム 那覇」のギャラリースペース「ギャラリー 9.5 NAHA」にて、2020年12月12日（土）～2021年4月2日（金）に、沖縄県内を拠点に活動する美術家 阪田清子による個展「ゆきかよう舟」展を開催します。

阪田は沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科を修了後、県内を拠点に、生まれ故郷の新潟など様々な土地を歩き来しながら、「不確かな立ち位置の集合体」をテーマに、日用品や自然物等を用いて、儂くも力強い作品を発表してきました。

今回は、「待合室」を意味するアンテルーム那覇で、海や対岸、その先の物語を想起させるインスタレーション作品を発表します。コロナ禍で塞ぎ込みがちな状況が続きますが、港や船を臨む窓からの景色と共に、作品をゆったりお楽しみください。

### ○関連概要

阪田清子個展「ゆきかよう舟」

開催期間：2020年12月12日（土）～4月2日（金）（会期中無休）

時間：11:00～20:00

場所：ホテル アンテルーム 那覇 ギャラリー 9.5 NAHA

入場無料

### ○作家プロフィール：

阪田清子 Kiyoko Sakata



1972年新潟県生まれ、沖縄県在住。

2001年沖縄県立芸術大学大学院造形芸術研究科修了。近年の主な展覧会に、「Present Passing: South by Southeast」Osage Gallery（2019/香港）、「新・今日の作家展2018一定点なき視点」横浜市民ギャラリー（2018/横浜）、「水と土の芸術祭」（2018/新潟）、「開館10周年記念展『邂逅の海—交差するリアリズム』」沖縄県立博物館・美術館（2017-18/沖縄）、「ニイガタ・クリエーション」新潟市美術館（2014/新潟）など。主な個展に「海をわたる」Gallery3+4（2020/新潟）、「不確かな立ち位置の集合体」ギャラリーパリ（2017/横浜）、「対岸—循環する風景」砂丘館（2016/新潟）など。沖縄県立芸術大学美術工芸学部美術学科絵画専攻准教授。

### ○コメント：

「あちら」と「こちら」、そのどちらからも疎外されるもの、或いはどちらでもありながら行き場を失い彷徨うもの。私は、それらを「不確かな立ち位置の集合体」と呼び、作品のテーマとして制作をしています。

○参考作品



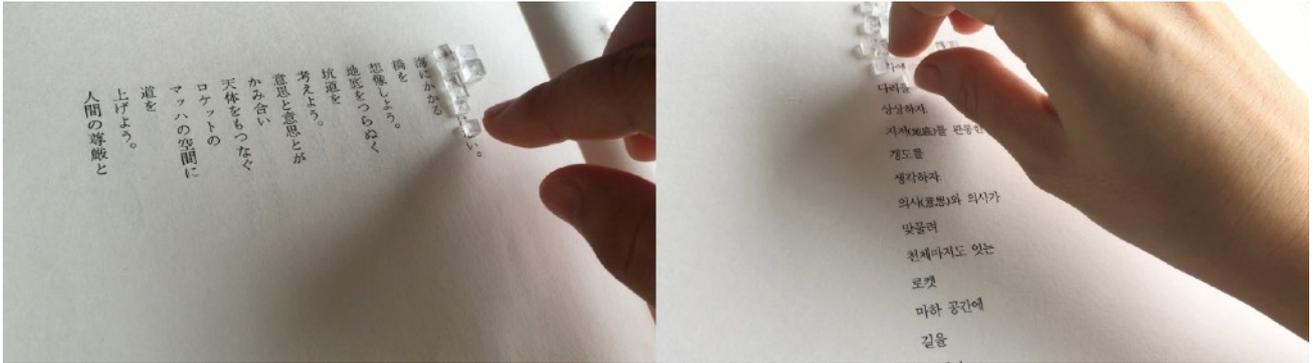
上) タイトル:ゆきかよう舟  
素材:塩の結晶、本、写真、ハガキ  
サイズ:20cm(H)×500cm(S)×150cm(W)  
制作年:2016年

塩の結晶に隠された本や写真は海に沈んだ人々の墓と歴史をイメージしている。またそれらは、海に映った空を飛ぶ渡り鳥の姿と未来をイメージしている。私たちは過去と未来の間で揺れ動く舟のようなものであり、どのように進んでいくかということは現代に生きる私たちの問題でもある。

下) タイトル:空を漕ぐ  
素材:オール、鳥の羽  
サイズ:200cm(H)×40cm(S)×10cm(W)  
制作年:2018年

渡り鳥は、目的地までの道のりを迷わないのだという。そこは未だ見ぬ地だというのに。人類が何万年もかけて移動を続け、海を渡ってきた道のりと渡り鳥が空をゆく姿とを重ねてみる。





タイトル：対岸について

映像 時間：20分47秒

詩：長篇詩集「新潟」金時鐘

制作：2016年

朝鮮半島を分断する38度線を真っ直ぐ伸ばすと日本の新潟にぶつかる。作品で引用している「長篇詩集新潟」の背景には、新潟で国境を超えるという在日詩人の金時鐘氏の想いが秘められている。作品「対岸について」は、「言語」を「光」や「音」に変化させ、「対岸」を繋ぐ新たな航路を想像しようという試みである。

### ○関連イベント

#### 1) ワークショップ「海水から塩を作る」

阪田さんとホテル付近から海水を集め、煮立てて塩を作ります。塩を作りながら、かつて塩田だった前島周辺の話や地元ゲストを招いて伺います。

日時：11月7日（土）10:00～12:00

集合場所：ホテル アンテルーム 那覇 2F

参加費：500円 定員：10名

#### 2) アーティストトーク&お披露目会

今回展示された作品について、作家からお話いただきます。

日時：12月12日（土）18:00～18:30

場所：ホテル アンテルーム 那覇 2Fギャラリー周辺

定員：20名

参加費：無料

\*終了後は簡単なお飲み物を用意してお待ちしております。

#### 3) ギャラリートーク

展示作品について、ホテルスタッフが説明します。

毎週日曜日（予定）

参加費：無料

予約不要

その他、展覧会開催期間内に外部ゲストを招いたトークイベント等を開催予定です。

最新情報はwebサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト <https://okinawa-uds.co.jp/hotels/anteroom-naha/>

インスタグラム [https://www.instagram.com/anteroom\\_naha/](https://www.instagram.com/anteroom_naha/)

---

## ○「ホテル アンテルーム 那覇」とは

2011年に開業した京都に続いて、2020年2月、沖縄県那覇市に新たにアンテルームが誕生しました。アートやカルチャーを通し、その土地ならではのローカルな息吹が感じられる体験をお届けします。アンテルームとは「待合室」を意味します。それは、このホテルを訪ねる人たちが、次の目的地に向かうための準備や気持ちを快適に整えることができる「待合室」のような空間を目指し、名付けられました。私たちが考える「待合室」の“合”は、ホテルに集う人たちの交流だけではなく、ホテルアンテルーム那覇という特別な時間・空間のなかで、アートやカルチャーとの出“合”いの演出もできればと考えています。

## ○問い合わせ先

■ホテル アンテルーム那覇（担当：芦立）

098-860-5151（ホテル代表） gallery@anteroom-naha.com

---

\*昨今の新型コロナウイルス感染リスクのある状況下においてお客様に安心して滞在いただけるよう、館内のさらなる衛生管理の強化とお客様とスタッフの健康管理確認を徹底し、お客様に安心してお過ごしいただける滞在をご用意してまいります。

<お願い>以下の項目に当てはまるお客様には、ご宿泊をお断りさせて頂く場合がございます。

- ・37.5度以上の発熱のあるお客様、検温のご協力に応じて頂けないお客様
- ・2週間以内に海外に渡航歴のあるお客様
- ・ご入館の際にマスクのご着用にご協力頂けないお客様

お客様には大変ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

## <ホテル基本概要>

名称: ホテル アンテルーム 那覇

所在地: 〒900-0016 沖縄県那覇市前島3丁目27番地11 TEL 098-860-5151

アクセス: 沖縄都市モノレール「美栄橋駅」より徒歩14分、那覇空港より車で約10分

開業日: 2020年2月27日

客室数: 126室(8タイプ)

付帯施設: ギャラリー、レストラン、バーラウンジ、ショップ

駐車場: 有

敷地面積: 2,625m<sup>2</sup> 建築面積: 1,261m<sup>2</sup> 延床面積: 5,756m<sup>2</sup>

規模: 地上7階

構造: 鉄骨造

不動産企画: 株式会社日建ハウジング

企画: UDS株式会社

設計: UDS株式会社、株式会社エー・アール・ジー

運営: 沖縄UDS株式会社

施工: 金秀建設株式会社

事業主: 株式会社 A S A K A

## <沖縄UDSについて>

まちづくりにつながる事業企画、設計、店舗運営を行うUDS株式会社の100%出資子会社として2016年10月に設立された沖縄UDSは、「沖縄の魅力を地域とのつながりから再発見し、国内外に伝えていくための架け橋となる場作り」を目指しています。宮古島のHOTEL LOCUSやthe rescapeをはじめ、沖縄県内各地でホテルやリゾート施設の開業を進めています。

<https://okinawa-uds.co.jp/company/>